

◆ 2021 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 エコ.エコ
代表者：代表理事 加倉井 憲一
URL : <http://eco-minuma.com>

24A-07

1. 活動が必要とされた状況

NPO 法人が発足して 2022 年で 10 年目に入ります。活動の振り返りのために昨年度は植物調査をまとめました。今年度は昆虫、クモ、カタツムリの調査報告をまとめるために支援を必要としました。保全地のシンボルである 2 つの龍の材料となる藁縄等の支援を受けました。この龍は、見沼原形保全区間の目印にもなっています。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

① 湿地保全活動 月 2 回、第 2 木曜日、第 3 金曜日。他に臨時で夏の草刈り、秋の枯れ草刈りヨシ刈り、枯れ草を集めた道作りを実施しました。「龍神・マルコ」「龍神・彩」製作のため臨時の作業がありました（ボランティア 183 名）。



② ベルダの森の保全・畑作業 畑作業はトラスト 1 号地メンバーとの協働で毎週火曜日に行いました。他に斜面林の手入れや市民の森の活動も行いました（ボランティア 221 名）。



③ 観察会 2021 年度は、2 回に分け、少人数で行いました（ボランティア 14 名、大人 26 名、子ども 42 名）。

④ 里山.com 人数を制限して、活動を実施しました（ボランティア 23 名、大人 47 名、子ども 59 名）。

⑤ ゴミ拾い 毎週月曜日実施しました（98 名）。

⑥ 支援活動 チャレンジスクール 民家園しぜん塾 小学 3 年生の授業支援（ボランティア 28 名、大人 36 名 子ども 62 名）。

⑦ 調査 5 月～11 月まで月 1 回調査を行いました（32 名）。

⑧ 視察 サイサン環境保全基金、花と緑、東電等（ボランティア 15 名 視察大人 42 名、合計 928 名）



（注） ベルダ＝エスペラント語で緑、マルコ＝エスペラント語で湿地

3. 活動の成果

① 10 年目に入り活動振り返り動画を作成しました。自然なくしては、人間は生きていけないことを SDGs の取り組みの一環として、小学校でこの動画を校内で放送してもらいました。また、中止になった観察会は動画を作成しました。

② 見沼原形保全区間に隣接するマルコでは、生物多様性のシンボルとしての 2 つの龍と表示板等で自然理解をアピールしています。

③ 畑は環境保全型農地として、農薬を使わない方法で作物を育てています。

4. 今後に残された課題

① 湿地や斜面林、畑の保全を行い、動植物の保護に努め、生物多様性の保たれる空間を増やしていき、自然理解を得る努力をします。

② 公有地化に向けた取り組みを今後も続けていきます。

③ 冊子や動画等を製作し、自然理解の輪を広げます。

